

第9回福山市学校教育環境検討委員会の議事概要

1 日 時 2014年（平成26年）9月30日（火） 10:00～12:00

2 委 員

◎委員長，○副委員長

名 前	役職名	名 前	役職名
◎秋川陽一	福山市立大学教育学部教授	森美智代	福山市立大学教育学部准教授
○永井純子（欠）	福山平成大学福祉健康学部教授	村上勝士	福山市自治会連合会会長
小野明人	福山市民生・児童委員協議会会長	藤井春勝	福山市公民館長会会長
平田誠治	福山市PTA連合会会長	藤原理絵	福山市PTA連合会副会長
西本紀子	福山市PTA連合会会計	岡本康成	福山市子ども会育成協議会会長
荒木一夫	福山市公立小学校長会会長	川崎富男	福山市公立中学校長会会長
松本茂太郎（欠）	福山商工会議所副会頭	喜多村祐輔	福山青年会議所理事長
藤本和士	連合広島福山地域協議会事務局長		

3 概 要

(1) 教育長挨拶

(2) 事務局報告

第8回検討委員会の議事概要

(3) 審議事項

I 望ましい学校教育環境のあり方について（答申）【案】

II 資料編【案】

III 望ましい学校教育環境のあり方について（答申）概要版【案】

【意見等】

答申の内容について精査を行った。

意見に基づき、次のとおり追記，修正等を行うこととした。

《諮問事項1：教育効果を高めるための望ましい学校規模等の基本的な考え方について》

◆望ましい学校規模

・論点の3点目，「創り出したりする能力」は，「創出する能力」とする。

◆望ましい学級規模

・記載の順番を，小学校，中学校，単学級の順番とする。

・「○小学校：1学級21人～30人」「○中学校：26人～35人」の後に，「が望ましい。」を記載する。

・「少人数指導推進員」について説明する部分を，「…担当する職員をいう。また，…」とする。

・P. 12 「創り出したりする能力」は，前述と同様「創出する能力」とする。

・「単学級における小学校の下限が，16人以上が望ましい。」という結論に至った根拠について記

載することとする。

◆小中一貫教育校

- ・ 1 点目の○の「また、」の前の改行を削る。
- ・ 2 点目の○の「なお、効果的な連携教育を行うためには、連携する小学校が少ない方が、小・中学校の連携が容易になる。」については、意見ではなく事実であることから、論点の方に記載する。
- ・ 「複数校に亘る」の「亘る」は、一般的に使用しないためひらがなにする。
- ・ 一体型小中一貫教育校の中学校の 1 年から 3 年は不要である。その代わり、「一体」とそれを表す記号を入れる。
- ・ 小中一貫教育は、福山の教育の中味が良くなるために進めているのだということが分かるように、答申の中に書いたらどうか。

⇒これまで市が行ってきた小中一貫教育の取組と検討委員会へのつながりを、本答申に記載することを検討する。

《諮問事項 2：社会の変化に対応する教育環境の整備に向けた具体的な方策について》

- ・ 施設整備に焦点が当たっているが、情報化に対応した教育環境ということで言えば、学校の図書室の蔵書の整備が弱いように思う。インターネットでのデータでの情報収集も必要だが、学校の図書資料というものが揃っていて、最新の情報機器が生かされると思う。
- ・ タブレット端末を整備するのであれば、著作権さえきちんと保護されれば、電子化された書物を読むことができる。電子書籍の活用も考えられる。
- ・ 図書館に専属の学校司書がいればさらに充実する。授業を進める上でも、学校司書が必要な図書について子どもにアドバイスしたり、事前に準備をしたりできる。

⇒学校図書室の蔵書整備、電子書籍の活用や学校司書配置などによる充実について追記する。

- ・ 『時機をとらえた児童生徒に対する情報モラルの指導及び保護者と連携した指導』について、現在 P T A では、子ども達のインターネットやスマートフォンの利用について、保護者への啓発などの活動をしており、とても重要なことだと思う。より重要視した記載にならないだろうか。

⇒記載の仕方を検討するとともに、情報リテラシー教育の重要性について、もっと重要視した書き方をすることとし、情報機器をどう使うかが重要であるということを記載することとする。

- ・ 地域団体との連携に、「子ども会をはじめとした」を付記する。
- ・ 地域の活動に、ふるさと学習へつながる仕掛けをしていかないといけないと考えている。
- ・ 子どもと地域・保護者が、共に学び合い、育ち合う『共育』が行われることが理想である。

《附帯意見》

- ◆冷水器の設置について、附帯意見として記載するのであれば、衛生面の安全確保という観点が必要である。冷水器は、教育委員会に必ずしも設置義務があるものではない。検討委員会の附帯意見とするのであれば、衛生面で課題があり、安全確保が図られることを前提とすべきである。

【まとめ】

- 本日の会議での意見を，答申案に反映させ，次回検討委員会で内容を確認する。
- 諮問事項３の『児童生徒の健全育成のための教育環境の整備』以下については，次回精査する。
- 答申の【概要版】案については，持ち帰り，次回において意見を出し合うこととする。